

広報

わたらい



昭和47年 1月1日号



謹
賀
新
年



町政と町民をむすぶ広報紙

129号

発行・度会町役場
印刷・文化印刷有限会社



年頭のあいさつ

郷土を愛する心で 前進建設を

度会町長 濱岡 和一

町民の皆様、明けましておめでとうございます。ここにつつがなく、希望に輝く一九七二年の元旦を迎えましたことを、皆様と共に喜び申し上げます。

かえりみて、昨年は皆様方に相も変らぬご指導を賜りましたことを思い、ただただ感激のうちに新春を迎えることができましたことを厚くお礼申し上げます。

私は、つねに町民との対話を基調として、町民の立場に立った町政を進めてまいりましたが、今年は、明るく豊かな町づくりを、さらに一段と推し進め、本町繁栄の基礎を固める年であると思っております。

愛する郷土の明るい未来を築くために、十分過去の経験を生かし、こん身の力を傾けて、町民生活の安定と福祉の増進を図り、皆様のご期待にこたえてまいりたい所存であります。

日頃、申し上げておりますように、とりわけ我が度会町においては、年々広域化する行政需要に対応するため、本町の振興指標として、昨年発足した「総合開発計画審議会」を柱に、行財政の具体的方策を樹立し、積極的に推し進めますが、なかでも、町民生活に密着した仕事には、特に力を入れ、最大の効果をあげてゆきたいと思っております。

幸い、本町は国の地方振興施策である山村振興事業の指定地域にあわせて、今年、あらたに農業振興地域の指定も受けられる見通しとなり、これらの制度に基づく、国の財政援助を受けて、公共事業の積極的な整備をはかり、更に町の振興事業をより強力に推進したいと、決意をあらたにしている次第であります。

待望久しかった、夢の架橋「鮎川大橋」も一部の取付道路を残して見事に完成されました。今後は川南線をはじめ、町の資源が、単に山村における産業振興のための施策だけでなく、住民の生活水準の向上をはかる上からも、大きな期待がよせられております。

懸案となっており、まず道路網の整備促進、農林、茶業を中心とする産業の振興対策をはじめ、公共施設を必要とするゴミ処理場の建設、統合中学校の早期実現などは、何一つゆるがせに出来ない問題であり、私はこれらの解決のために、具体策を検討するほか、政治力を結集して、努力いたしたいと存じます。

百事一新、前進と建設に乗り出す年を迎え、皆様方のご協力をいただき、全力投球で、明るく強く伸びる町、美しい平和な花ひらく町づくりに精進することをお誓いし、皆様の健康とご多幸を念じて、年頭のごあいさついたします。

賀 正

度会町役職員

- | | |
|------|-------|
| 町長 | 濱岡 和一 |
| 助役 | 松田 浅七 |
| 収入役 | 中川 省三 |
| 教育長 | 繩手 利一 |
| 総務課長 | 橋本 敬 |
| 住民課長 | 山下 次男 |
| 産業課長 | 井戸本由一 |
| 税務課長 | 竹田 透乗 |
| 土木課長 | 山根 勝己 |
| 議会 | 山中 清久 |
| 事務局長 | 中村 正 |
| 教務局長 | 中村 正 |
| 外職員 | 一同 |

あけましておめ



度会町議会議長 広 良松

新年を 迎えて



新年おめでとうございます。年頭にあたり皆様のご多幸を心からお祈りいたします。さて、昨年は選挙の年で、四月の統一地方選挙を皮切りに七月の町議会選挙に至るまで、誠にあわただしい一年であったと思います。

新議会は、七月改選以来、毎月協議会を開いて今後四年間いかにあるべきか、これらの課題に真剣に取り組んで参った次第であります。

昨年の大きな事業をあげて見ますと、先ず宮川沿岸の大動脈である鏡川大橋の架設であります。また、取付道路工事を一部残しておりますが、橋そのものは完成し、美しい姿を宮川の流れに映して渡りぞめの日を待つばかりであります。

次に岩坂道路の改良工事があげられます。峠から工事が開始された関係で、直接目にはふれませんが、岩坂峠の山の中にそれこそ、あつと驚くような立派な道路が出来あがっております。

この工事は、玉城町当局ならびに玉城、度会両町の漬地関係者各位のご理解と、自衛隊員の二カ月にわたる血と汗のじむような作業によって完成したものであります。ここに自衛隊、玉城町当局ならびに関係各位のご協力に対し心から感謝申し上げる次第であります。

これで、長年にわたる岩坂道路の開通も夢でなくなったわけでありました。今後の継続工事についても議会と執行部が一体となって、県および国に対して働きかけて参りたいと存じます。

その他の県道改良についても予定どおり進んでおり、町道改良も幹線の舗装は、本年度でほとんど完成という成果をあげております。

町政の推進は、先ず道路の整備からという当初の目的が町民各位のご協力によりやく実りはじめております。これからは、町の産業振興をいかに進めるべきかについて、衆智をあつめなければならぬと思っております。

すなわち、米作の休耕田は、年々増えて山田から平坦部に及んでおり、特産物である茶の栽培も国内新興地の茶の増産と生産費の安い輸入茶の増大により、その前途は、樂觀を許さざる状態であります。茶生産者、農協および茶業組合等が一体となって、この危機をのり切るための対策を講じなければなりません。

昨年、当地方を襲った二十三号台風は、河川、林道、農道および用水路などに大きな爪跡を残しましたが、この復旧も急がねばなりません。

今年こそ、度会町発展のため、交通事故のない、公害のない夢多き明るい町づくりを目指して、皆様とともに語り、考えて参りたいと存じますので、一層のご支援をお願いいたします。

迎春

度会町議会

議長 広 良松

副議長 杉本 光郎

議員 北村佐太郎

西井 三郎

西村金石衛門

南出 丑松

中広 文男

中嶋 一男

中西 定

坂谷 金三

藤田 安生

鈴木 正夫

竹内 熊一

山下 孫一

世古 捨吉

中野 亮一

もらえるよ児童手当 町長の認定者きまる

三人目以降の児童一人につき月額三〇〇〇円を支給
児童が心身ともにすこやかに成長することは、国民すべての願いであり、家庭と社会がともどもに児童の健全な育成に努めることが望まれます。

このため施策のひとつとして児童手当法が生まれ、いよいよ今月から発足することになりましたが、このほど町長から、第一号受給者八十四人が次のとおり認定されました。

【葛原】谷口浩(文彦)、山本善一(新)、【大野木】坂口勝(房子)、中世古俊治(稔)、福井郁夫(容子)、丸井晋(久幸)、東出与市(光代)、福井忠雄(富美)、【棚代】岡野富男(展也)、大北浩資(久司)、岡村敏幸(恵)、山本安平(安彦)、中村和弘(和彦)、中村熊生(真由美)、中村幸次(幸美)、榎本博昭(仁司)、中村富一(ゆかり)、

【杉山】福男(刀)、伊藤敏夫(直紀)、佐藤教雄(隼人)、加藤周一(直紀)、【牧戸】坂之、藤周一(直紀)、【平生】山谷行保(浩規)、【北憲】(和秀)、北喜三郎(通子)、敦子、山美子、鳥羽菊治(なおみ)、鳥羽幸三郎(美千緒)、【大久保】坂本安正(光代)、【鮎川】森明美(律子)、世古幸司(浩一)、【茶屋広】河村周次郎(一彦)、【上久具】

尾崎進(充)、藤田幸平(文香)、西川浩(健)、野原良男(計美)、【下久具】小岸十吉(良行)、中西啓起(美香)、【注連指】廣知次(栄子)、今ヶ瀬菊一(美代、真澄)、井上信夫(春夫)、【麻加江】細谷長五郎(浩)、世古伊三雄(昌治)、【長原】大西勤次(政彦)、北村勲(順)、垣出中文夫(良幸)、濱地正見(淳司、実千代)、大西利和(千津)、【川口】河村靖(忍)、【栗原】西田久(秋浩、真佐子)、伊藤作蔵(隆文)、小林章(伸也)、【中野】中野一雄(友章)、【日向】伊藤信雄(美紀)、橋本一芳(弓)、伊藤武志(清彦)、【五ヶ町】岡谷昌行(佳代子)、【小川】奥野可頌(和秀)、奥野丈夫(和香)、西村毅(香)、井上秀夫(宏、里美)、【川上】小谷真也(修)、御村賢(文雄)、前田登(光彦)、小森嘉三(京子)、【南中村】

中野光雄(美佐子、洋子)、井田公(みどり)、御村育郎(靖)、長谷川薫(能生)、井口佐七(寛代)、平生伊佐雄(勇)、御村堅一(さつき)、小林弘之(リエ)、御村正和(幸好)、【和井野】田畑政治(よしる)、西岡玉己(千里)、桜谷明一(みどり)、西村彦美(里美)、【脇出】奥村加昭(満)、神森元男(佐和子)、島田稔(小百合)、【市場】高橋俊二(正美)、【柳】西川武嗣(伸介)、【小萩】前田忠雄(由美子)、作野保人(勤寿生)、

一九七二年の年があげました。おめでとうございます。元旦の朝、年賀状の配達されるのを待つ気持ちはたのしいひとときです。

いつもですと、せいせい新



聞ぐらしいか待っているものもないのに、今か今かと待ちこがれます。

お友だちや、遠い知り合いなど、ことしはどんな趣向で年賀のあいさつを書いてくれるだろうか。心のときめきを押しきれない一瞬です。

気のせいかな「けさの配達はおそいなあ」などと思わないで、ゆっくりお待ちください。

なにしる、この朝、北から南から全国に行き交う年賀状の数はざっと二十億通といわれます。

どさっと音をたてて投げこまれた年賀状の中に、古いお友だちや、思いがけない人からいただいたり、意外なうれしさや、なつかしさが込み上げてくるものです。

中には、年に一度ご無沙汰のおおびを兼ねたものもありましようが、ふだん顔を合わせていながらも、友情と信頼の結び目の役割を果たしているようです。



昨年、沖繩国会の幕あけで、政治はもちろん経済的にも社会的にも、はつきりした自覚を求められました。

めまぐるしく変わる国際情勢の中で、ことしこそ日本の進むべき方向をしっかりと見極めなければならぬ立場に立たされました。ただ問題は、公害、物価、交通、円切り上げなど、わたくしたちの周囲には、あまりにも身近な問題が多すぎます。

国連が昨年、中国を迎え入れましたが、隣国もさることながら、強い関心を持たざるを得なくなったことは悲しいことです。

広報わたらいは、今年も、町民の身近な問題を取り上げ「町と住民とのかけ橋」として、民主政治の土台となる覚悟で、毎月皆様のご家庭にお届け致します。

どうか、これからも「広報わたらい」を可愛がってくださいませようお願いします。

1月

1月のメモ

- 1日 元旦
- 4日 ご用始め
- 5日 特別職報酬審議会
- 6日 小寒
- 7日 七草
- 8日 出初式
- 〃 三学期始業式
- 15日 成人式
- 18日 土用
- 19日 町総合開発計画審議会幹事会
- 20日 昭和47年度保育所入所児童受付開始
- 〃 例月出納監査
- 21日 大寒
- 31日 国民健康保険税
第8期納期
- 〃 町県民税
第4期納期
(下旬) 臨時町議会